

2023年度第2四半期 決算説明会 事業概況



Enhancing planetary health

2023年11月9日

日揮ホールディングス株式会社

代表取締役社長COO

石塚 忠

CONTENTS

目次

- 総合エンジニアリング事業 マーケット環境の見通し
- 総合エンジニアリング事業 上半期の受注実績・下半期の注力案件
- 総合エンジニアリング事業 加速するサステナブル分野
- 総合エンジニアリング事業 主要案件の進捗状況
- 機能材製造事業 上半期の実績とマーケット環境



海外

【エネルギー分野（ETR※、LNGを含む）】 ※ Energy Transition

- **天然ガス（LNGを含む）は重要なトランジションエネルギー**として認識。既設プラントの増設計画を中心に、顧客の**設備投資は引き続き堅調**。
- サウジアラビア、UAEを中心とする**中東でのエネルギー分野での大型投資**。

【サステナブル・その他分野】

- **水素・燃料アンモニアやSAF、メタネーション**等の分野を中心に、**今年度はPre-FEEDやFEED**、来年度以降にはいくつかの案件で**FIDが順次実現**していく見通し。（スライド 5 ページ）
- **半導体製造用化学品及びバッテリー部材関連分野**におけるFS/FEEDやEPCの実現を期待。

国内

- **水素やSAF、蓄電池**などのサステナブル分野において、顧客は政府補助金を活用し計画。来年度には、複数の案件で**EPCが実現**する見通し。
- **バイオ医薬品**製造工場を中心に、顧客の設備投資は堅調に推移。



総合エンジニアリング事業 上半期の受注実績・下半期の注力案件

国内は順調に積み上げ。海外は下期での大型案件の受注に注力

連結受注実績： 約**1,600**億円

海外： 約**450**億円 国内：約**1,150**億円

	海外	国内
2023年度受注目標	6,200 億円	1,800 億円
上半期 主な受注案件	<ul style="list-style-type: none">・ オーストラリア 水素製造・ フィリピン 地熱発電・ 北米 半導体製造用化学品 等	<ul style="list-style-type: none">・ 医薬品製造工場（複数）・ 陸上養殖設備・ 蓄電池設置工事・ 原子力関連工事・ 保全業務 等
下半期 主な注力案件	<ul style="list-style-type: none">・ アフリカ FLNG・ オマーン LNG・ アラブ首長国連邦 LNG・ サウジアラビア ガス処理・ アルジェリア ガス処理・ インドネシア CCS+ガス増産 等	<ul style="list-style-type: none">・ バイオモノづくり・ 医薬品製造工場（複数）・ 保全業務 等

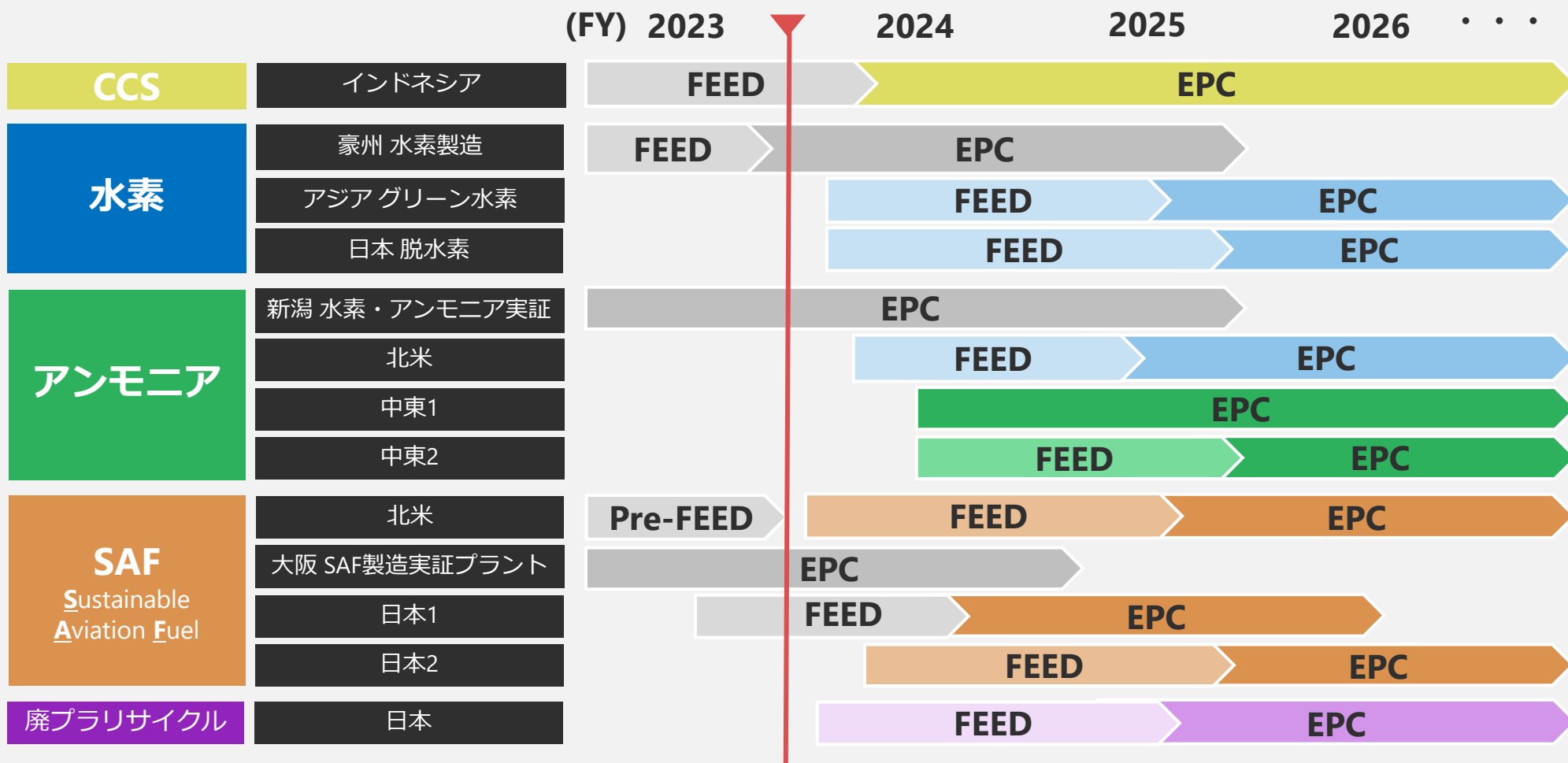
総合エンジニアリング事業 加速するサステナブル分野

複数の大型計画が着実に進展。構想段階から計画の実現をサポート

【当社グループが関与する主な案件】

※グレーの矢印は当社グループ受注済

Pre-FEED：概念設計 FEED：基本設計



完工プロジェクト：モザンビーク 洋上LNG

本第2四半期に成功裡に引き渡し。
FLNG分野のトップコントラクターの地位を確かなものに



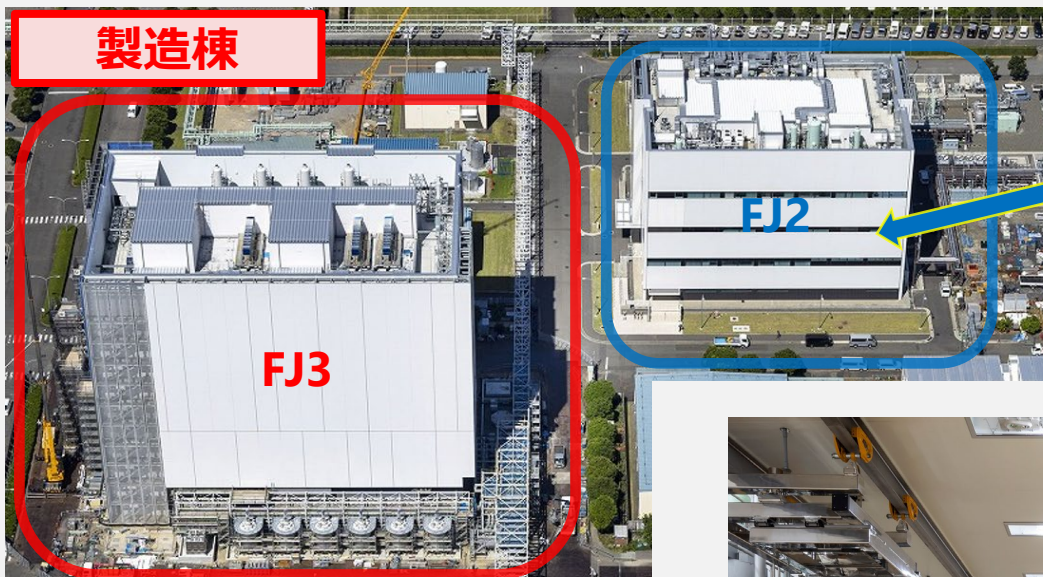
主要案件の進捗状況：LNGカナダ

全てのモジュールの据え付け工事が完了。
一部作業はプレコミッションングに入り、プロジェクトも終盤へ



主要案件の進捗状況：合成原薬製造棟（静岡県）

製造棟建屋などの工事は概ね完成し、棟内のプロセス工事へ移行。
本分野の知見や技術力を駆使し、顧客のニューモダリティ実現をサポート



主要案件の進捗状況：バイオマス発電設備（愛知県）

建設工事は、計画通り順調に進捗



機能材製造事業 上半期の実績とマーケット環境の見通し

	上半期実績	2023年度見通し
上半期実績	売上高 約 260 億円	500 億円

触媒・ファインケミカル

<マーケット環境>

- ・燃料需要が回復し、FCC触媒等の需要は堅調。
- ・電子材・半導体関連市況の悪化により、一部ファインケミカル製品の需要が低下。

<下期の方針>

- ・触媒分野は、海外顧客への拡販、低・脱炭素分野向け製品の展開を推進。
- ・ファインケミカル分野は、用途拡大等による収益源の多角化を加速。

マーケット環境/
下期の方針

ファインセラミックス

<マーケット環境>

- ・半導体製造装置市況は低迷が継続。
- ・一方、パワー半導体向け高熱伝導窒化ケイ素基板の需要は拡大。

<下期の方針>

- ・半導体関連製品を中心に受注減少を見込む。2024年度以降の事業環境の回復を見据え、生産計画・体制の見直しを実施。
- ・需要が旺盛な窒化ケイ素基板は、生産能力増強を前倒しに推進。

将来の見通しに関するご注意事項

本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。またこれらの情報が、今後予告なしに変更されることがあります。

従いまして、本情報および資料のご利用は、他の方法により入手された情報とも照合・確認し、ご利用者の判断によって行ってくださいますようお願いいたします。本資料ご利用の結果、生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

＜本資料に関するお問い合わせ先＞

日揮ホールディングス株式会社
戦略企画オフィス 経営企画ユニット
コーポレートコミュニケーショングループ
Tel:045-682-8026 Fax:045-682-1112
E-mail: ir@jgc.com